



北アルプス広域連合

北アルプス広域連合広報紙 2023年3月31日発行
北アルプス広域連合 長野県大町市大町1058-33
北アルプス市町村会館内 Tel.0261-22-6764
E-mail : kitaalps@kita-alps.omachi.nagano.jp

●大町市 ●池田町 ●松川村 ●白馬村 ●小谷村

北アルプス遊・交・学

<http://www.kita-alps.omachi.nagano.jp/>

vol.87



子育てに関する支援・相談・交流をワンストップで！ 「子ども未来センターかがやき」(松川村)

松川村は、「子どもは村の宝」をモットーに、積極的な子育て支援に取り組んでいます。

村役場北側にある「子ども未来センターかがやき」は、子どもの居場所として、また、子育てに関する支援や相談、交流などをワンストップで行える施設として、平成30年4月にオープンしました。

この施設には、小学生から高校生までを中心に、勉強や読書などができる「みんなの広場」や、バドミントンやボルダリングなどの軽運動を楽しむことができる「わんぱく広場」、乳幼児や未就園児などが絵本や遊具で遊ぶことのできる「おひさま広場」、育児子育て相談の場として利用できる「ふれあい広場」などが配置されています。

施設の愛称である「かがやき」は、村内小中学生からの公募により決定しました。「子どもたちが将来輝けるように」「子どもたちがきらきら輝いて過ごせる場所にしたい」との願いが込められています。



子ども未来センターかがやきの詳細は、松川村のYoutubeチャンネルで紹介しています。
(<https://youtu.be/nOGgAczQRsc>)

人口と世帯

(令和5年3月1日現在 長野県調べ)

北アルプス広域圏

人口 54,984人
世帯数 23,291世帯

主な内容

- 広域連合議会 11月・2月定例会について
- 令和5年度当初予算について
- 広域消防からのお知らせ
- 広域施設だより

11月定例会開催

令和4年11月10日に11月定例会が開催されました。

11月定例会では事件案件1件、予算案件5件の計6件の議案が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

指定管理者の指定について

北アルプス広域葬祭場の指定管理者の指定

令和4年度補正予算について

人事異動等、職員配置の変動に伴う人件費の調整のほか、主なものは次のとおりです。

▼一般会計（第2号）

衛生費において、白馬村リサイクルプラザ建設工事不落による市町村負担金、循環型社会形成推進交付金の減額、工事請負費の減額

▼ふるさと市町村圏事業特別会計（第2号）

市町村負担金平準化分の皆減による減額

▼介護老人保健施設事業特別会計（第2号）

新型コロナウイルス感染症自主検査費用補助金による県補助金の増額

▼介護保険事業特別会計（第2号）

▼老人福祉施設等事業特別会計（第3号）

一般質問（要旨・抜粋）

大和 幸久議員（大町市）

【第9期介護保険事業計画策定について】

問 第8期事業計画の総括（介護給付費の計画と実績の比較）は。

答 昨年度決算における計画と実績の比較では、計画値よりも実績値が約2.9%下回り、見込みより給付の伸びは縮小した。

要介護1から5の方に係るサービス給付費は、計画と比較して1億4,889万円余、率にして2.5%下回っている。また、介護予防サービス給付は、要支援認定者が減少傾向となっていることから、給付金についても差が広がり、計画と比較して15.8%下回った。地域支援事業は、計画と比較し7.5%下回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響から、総合事業の通所型サービス等の実施が困難となったケースや施設利用を控えるケースなどにより、事業費全体が縮小したことが下回った要因の一つと考えている。

問 第9期事業計画策定における施設整備と介護保険給付準備基金の活用による保険料改定は。

答 第9期事業計画策定における、今後の施設整備の考え方について、これまで増加の一途であった被保険者数は、本年度に入り

総人口の減少等に伴い減少傾向に転じている。また、認定者数は、介護予防重度化防止の取り組みや地域の支え合い活動の活発化などにより、平成30年度以降微減となっており、今後も同様に推移するものと見込んでいる。介護サービスの基盤として、第8期事業計画で実施した特別養護老人ホームの入所までの所要日数調査でも、これまでの施設整備等により待機日数は短縮する傾向にあり、人数も減少傾向となっている。こうした状況を踏まえ、第9期介護保険事業計画作成委員会において引き続き調査等を実施し、地域のニーズを分析し第9期の基盤整備のあり方を検討する。

介護保険事業計画期ごとの介護保険料設定には、介護給付費等の実績見込みに対して、介護保険料の必要額を算定した後、基金の活用分等を加味して、介護保険料基準額を設定している。第9期の介護保険料の設定については、現役世代人口の減少による保険料負担率の増加、新型コロナウイルス感染症の影響によるフレイルの進行等に伴う、サービス利用者への影響なども加味して介護給付費等の見込みを推計し、第10期以降の保険料も見据えながら、基金を有効に活用し保険料負担の軽減に努める。

【介護老人保健施設虹の家の経営改善について】

問 内部検討委員会の進捗状況は。

答

虹の家における内部検討を進めるにあたり、令和4年5月に、虹の家の職員が現況を理解することが必要との観点から、利用者の減少等により収益が減少している経営状況の実情を正確に話し合い、認識を共有するために、第1回の内部検討会を開催した。令和3年度決算数値が確定した令和4年8月には、虹の家の利用が大きく減少する9月から11月について、積雪が多くなる12月から2月までを多くの利用者が虹の家で過ごすために、その前段の9月から11月の利用控えが多いということが報告された。このような意見をもとに、職員全体が9月から11月の利用者の確保に向けて一丸となって取り組み、相当の実績を上げており、9月では145名、10月は121名、前年を上回る利用者が確保できた。11月についてもこのような状況で推移するものと考えている。

山中 伯行議員（松川村）

【介護保険事業について】

問

第8期介護保険事業計画の進捗状況と課題は。

答

第8期事業計画の重点施策に位置付けた9つの施策の中で、介護サービスの充実と基盤整備については、認知症対応型共同生活介護と小規模多機能型居宅介護の2つの基盤整備を位置付け、公募を実施した。応募のあった事業者について、選定委員会の審査を経て整備

運営事業者として決定し、いずれの法人も令和5年4月の稼働に向け、現在準備を進めている。

災害や感染症対策に係る体制の整備では、感染症に係る周知啓発を図り、事業所向けの感染症対策研修会の開催や幅広い相談支援の実施などを行うとともに、利用者に対し必要な介護サービスを継続するために、災害、感染症等の発生時における訪問介護サービス事業所支え合い事業を立ち上げ、感染症等の発生時に、当圏域の事業所が相互に協力して利用者を支える体制づくりに努めた。

介護保険を取り巻く課題の中で、生産年齢人口の減少等に伴う介護の担い手不足は、大きな課題と考えている。こうした状況から、地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムは、ますます重要なものとなり、ともに支え合う地域づくりを推進するため、市町村、地域包括支援センター等と連携して、地域住民の声を聞き、支え合い活動や担い手の創出などに努めている。引き続き、多くの地域住民が活動に参加できるように、生活支援サービス事業者等養成研修の実施など、高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる体制づくりを目指す。

問

介護保険制度利用時の自己負担の見直しは。

答

介護保険サービス利用の際の利用者負担は、当初、所得水準にかかわらず一律にサービス費用の1割の負担とされていたが、将

来に向け介護保険制度を持続可能なものとし、世代内・世代間の負担の公平や負担能力に感じられた負担を求めため、平成27年度に一定以上の所得がある方の2割負担、30年度には、現役並み所得者の3割負担が追加されるなど、制度の見直しが実施された。今後の利用者負担については、現役世代人口の急激な減少などの状況を踏まえ、持続可能な制度となるよう、現在、国の社会保障審議会等において議論がされているところであり、引き続き動向を注視する。

【新型コロナウイルス感染症について】

問

虹の家、鹿島荘における感染症対策は。

答

虹の家では、訪問者との面会制限を行うとともに、入所者の健康状態等は職員が毎日の確認を徹底し、発熱等の症状が確認された場合には、他の入所者との接触を防ぐため、個室へ移動し施設医の指示により適切に対応している。新規利用希望者には抗原定量検査を行い、陰性を確認した後に入所利用としており、現在までに130名がこの検査を受けている。デイケアの利用者は、各家庭で、毎日健康状態の確認をしており、送迎車両乗車時には、体温測定と手指消毒を実施している。

鹿島荘では、虹の家と同様に、面会制限を行い、外部の方との接触機会をできる限り少なくするよう努めている。外部のデイサービスなどを利用する場合には、当該施設において感染者

が発生していないことを確認した後、利用している。また、利用施設において感染が確認され、鹿島荘の入所者が濃厚接触者に該当した場合は自室に隔離し、職員が感染防護服を着用して食事や着替え等の生活支援を行い、感染者の自室で日常生活が完結できるよう対応している。引き続き大町保健所や嘱託医との連携を図り、感染対策の徹底を図る。

柴田 友造議員（小谷村）

【土木振興係について】

問 公共土木事業に係る設計業務が、平成19年に北安曇土木振興会から広域連合に移管された経緯は。

答 市町村の行財政改革や、外郭団体の見直し等が議論される中、平成15年12月に北安曇土木振興会あり方検討委員会が設置され、関係市町村の公共土木事業に係る設計積算などの事務を共同処理する土木振興会のあり方の検討が進められた。次いで17年8月の第3回検討委員会では、市町村において災害復旧事業や公共事業を行うには、市町村とともに共同で処理する何らかの組織が今後必要であることが確認された。また、公共土木事業の執行には、透明性、公正性、また、効率性が求められ、さらに公共事業に携わる組織として、法的な位置付けを明確にすることが必要であるとされ、同年10月の第5回検討委員会において、土木振興会

の業務を広域連合に移管することで土木事業の効率的な事業展開が期待でき、道路、河川、砂防等について、事業の促進活動を実施することが当地域にとって必要とされた。この結論を受け、19年4月に当該業務が広域連合に移管され、土木振興係を設置して、業務を開始した。

【定年引き上げに伴う消防本部の対応について】

問 定年延長移行期間中の定年職員数の推移と60歳以上の定年前職員数及び、その間の職員採用は。

答 消防本部職員の定年を迎える職員数の推移は、令和6年度が2名、以降、1年おきに8年度が4名、10年度が8名、12年度は4名、そして、移行が完了する14年度が6名となっている。60歳以上の定年前職員数は、6年度が2名、7年度が4名、8年度及び9年度が12名、10年度が18名、11年度が13名、12年度は14名、13年度が10名と想定している。その間の職員の採用は、広域消防発足の初期に採用された職員の多くが、この間に定年を迎えることを踏まえ、平成30年に条例定数の改正を行い、消防力を適正に維持することを前提として、計画的に採用人数の平準化を図っている。

定年延長の移行期間となる来年度以降について、この計画に基づき確かな人員管理と職員採用に努める。

【消防本部でのドローンの導入について】

問 ドローンの配備と運用は。

答 平成30年に1機目のドローンを導入し運用を開始している。この機体は、望遠機能

を備えたカメラを搭載しており、災害状況を上空から偵察し、撮影した映像をリアルタイムに映し出すことができ、消防隊員が容易に接近できない危険な場所の状況確認にも有効で、活動方針の決定や二次災害発生危険性の予測に活用している。これまでの活動実績は、捜索救助活動2回、火災調査38回、その他の調査等で12回となっている。

本年度導入した2機目のドローンは、9月に納入され、以降、操縦士の飛行訓練を重ね、11月から運用を開始した。新たな機体は、悪天候時にも飛行可能な性能を有し、全方位に向けた高精度のセンサーにより、障害物との衝突を回避することが容易で、夜間飛行や資材等の投下の承認を得ている。火災への対応では、上空からの延焼や周囲への飛び火の状況、地上から視認できない箇所に残火の有無等を確認することが可能となっている。救助、捜索活動では、広範囲にわたる上空からの捜索が可能となり、要救助者を発見した場合には、その位置を正確に測定し、救命浮環などの資機材を投下することも可能である。今後は、この2機体制により、それぞれの機体の特性を生かし、効果的な運用を図るとともに、消防本部が制定する無人航空機運用規程及び飛行マニュアルを遵守し安全運航に努める。

2月定例会開催

令和5年2月16日・17日に開催された2月定例会では、報告案件4件、事件案件2件、予算案件9件の計15件の議案が提出され、すべて承認・可決されました。

専決処分の報告について

▼一般会計（第3号）

▼介護老人保健施設事業特別会計（第3号）

▼介護保険事業特別会計（第3号）

▼老人福祉施設等事業特別会計（第4号）

いずれも令和4年人事院勧告に伴う人件費補正

長野県町村公平委員会共同設置規約の変更について

▼長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更

訴えの提起について

▼不当利得返還請求について訴えを提起

令和4年度補正予算について

▼一般会計（第4号）

▼介護老人保健施設事業特別会計（第4号）

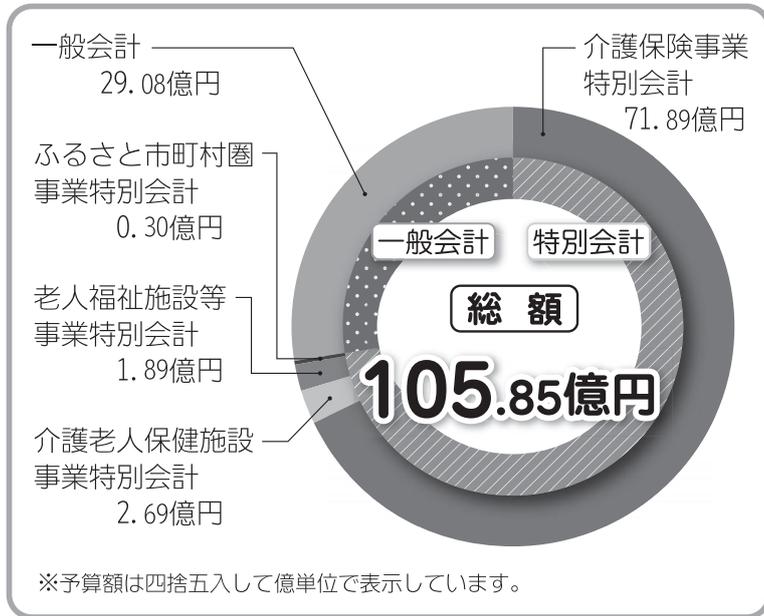
▼介護保険事業特別会計（第4号）

▼老人福祉施設等事業特別会計（第5号）
いずれも事業実績見込みに基づく補正

令和5年度当初予算について

一般会計と4つの特別会計の総額約105億8451万円の予算が可決されました。

広域連合予算全体としては、大町市環境プラント焼却棟解体撤去工事、感染症対策の観点から行う消防各署仮眠室個室化等工事を予定していることなどにより、令和4年度予算と比較して、10億1672万円、10.6%の増となりました。

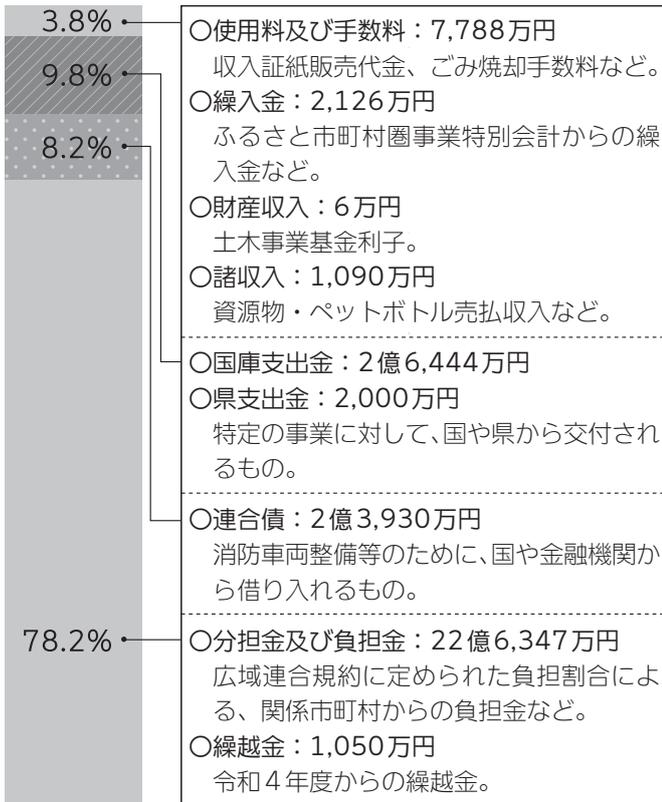


会計名称	当初予算額 (単位：万円)	前年度比	概要
一般会計	29億781万円	49.1%	一般廃棄物処理施設北アルプスエコパークの管理・運営、北アルプス広域葬祭場の管理・運営、消防・救急活動、土木事業に係る設計・積算、情報処理システムの共同設置・管理等の業務を行います。
介護保険事業特別会計	71億8,944万円	1.1%	介護サービスに対する給付など、介護保険の保険者として、介護保険事業の運営を行います。
介護老人保健施設事業特別会計	2億6,865万円	0.3%	市立大町総合病院に併設する介護老人保健施設虹の家の運営を行います。
老人福祉施設等事業特別会計	1億8,884万円	△6.4%	養護老人ホーム鹿島荘・グループホームひだまりの家の運営を行います。
ふるさと市町村圏事業特別会計	2,977万円	△12.3%	ふるさと市町村圏基金を活用し、市町村の地域振興イベントへの補助等を行います。

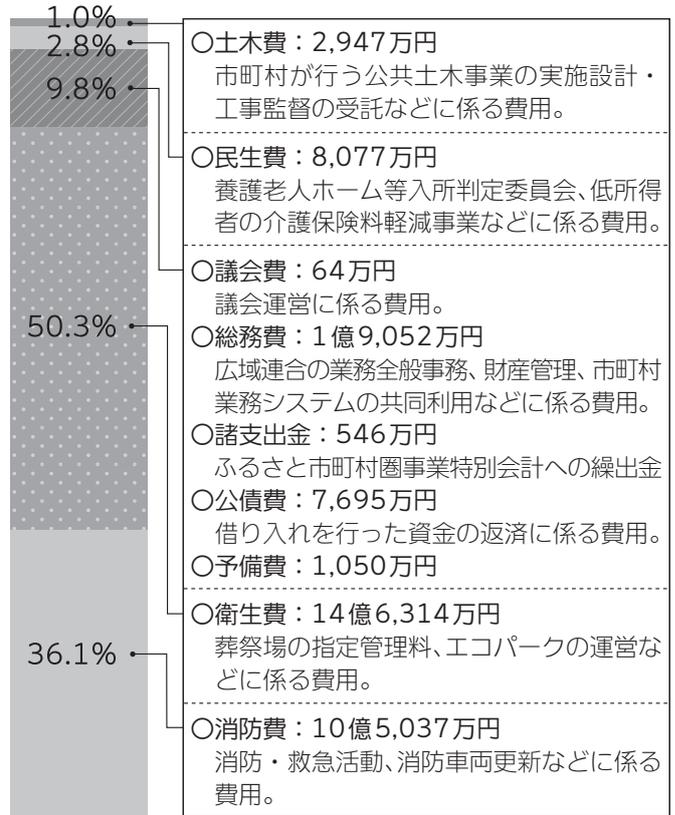
一般会計

総額 29億781万円

歳入



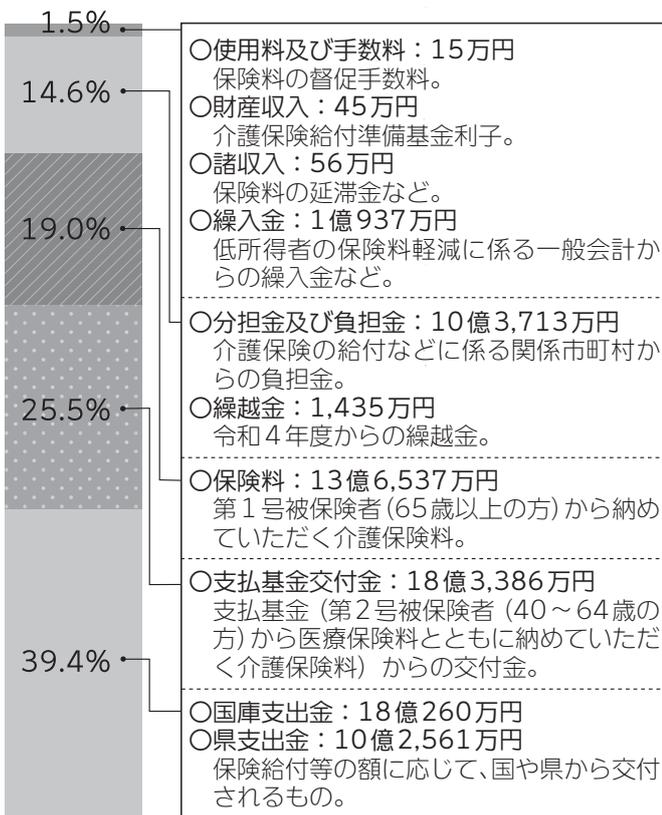
歳出



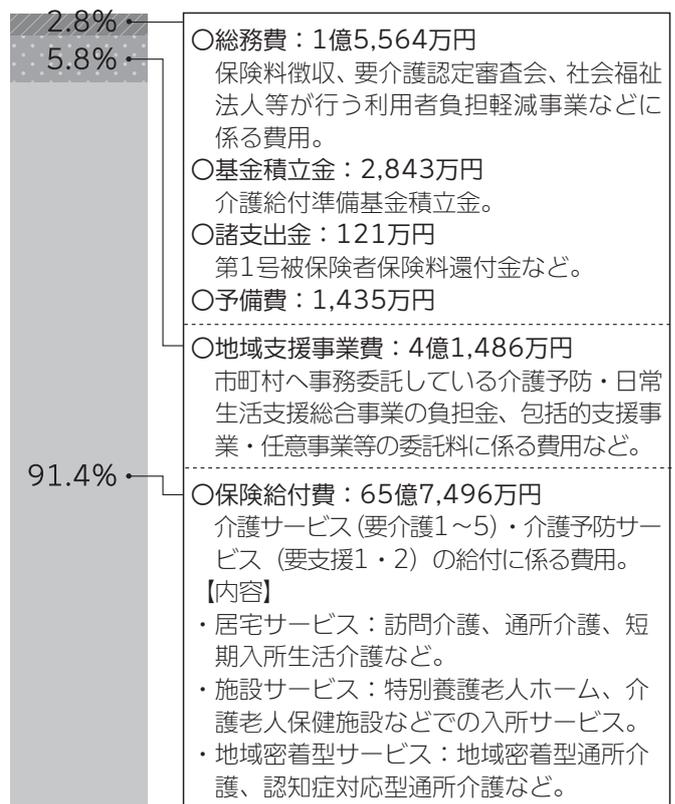
介護保険事業特別会計

総額 71億8,944万円

歳入



歳出



※各予算額の四捨五入の関係から、歳入歳出の合計は総額と一致しません。

広域消防からのお知らせ

南部消防署高規格救急車納車



新しい高規格救急車

車両更新に伴い、南部消防署に高規格救急車が昨年9月28日に納車となりました。

車両外観の特徴は、車体側面や後部に貼付された文字やマーキング類です。光がどのような方向から当たっても反射するシートを採用し、日中だけでなく夜間においても視認性、誘目性を高めています。赤色警光灯は、活動状況によって3モードに変化する、「アクティブビームコン」という最新型の赤色警光灯を装備し、より安全な救急搬送を支援します。

内装は、バックドア付近のアシストグリップに、掴みやすい長タイプを採用し、高齢者にも乗り降りしやすい救急車となりました。

資器材では、胸骨圧迫や人工呼吸を自動的に行ってくれる「自動心肺蘇生器」を備え、緊急走行中の揺れる車内でも、質の高い胸骨圧迫を維持するとともに、今まで胸骨圧迫にあたっていた隊員の手が動くことから、他の救命処置を迅速に行うことが可能となり、救命率の向上が期待されます。

広域連合の施設だより

《養護老人ホーム鹿島荘》

節分の豆まきを行いました



食堂での豆まきの様子

養護老人ホーム鹿島荘では、2月3日に節分の豆まきを行いました。

節分は季節のうえでは冬から春へと季節が変わる立春の前日とされています。昔から、季節の変わり目にはいつもと違うことが起こったり、予期せぬ出来事に見舞われやすいとされてきました。そこで、立春となる前日に悪いものを追い払い、幸運が舞い込むようにと願い、節分の行事が行われるようになったと言われています。鹿島荘では毎年節分の日には、鬼役と豆まきをする利用者さんが施設内を練り歩きます。今年は赤鬼の職員と青鬼の利用者さん、豆まきをする2人の利用者さんが施設内を回りました。鹿島荘の節分で使う豆は、投げた後に拾い忘れが少なく、投げ終わった後には食べられるように落花生を使っています。すべての部屋の豆まきが終わり、全員が食堂に集合して、これからも皆が健康で楽しく生活ができることを願い、もう一度「鬼は外、福は内」のかけ声で豆まきを行いました。

《北アルプスエコパーク》

長期包括運営業務委託契約を締結

広域連合では、一般廃棄物処理施設北アルプスエコパーク（平成30年8月本格稼働）の安全性、安定性を確保しながら、可燃ごみ・資源物の搬入管理業務、プラント設備運転管理・維持管理業務など関連する多くの業務をまとめ、本年4月から令和15年3月までの10年間の長期包括運営管理を、「荏原・テスコ特定業務委託共同企業体」に業務委託します。

長期包括運営業務委託には、民間企業の創意工夫による経費削減効果が大きいことや、要求水準を満たす施設運営管理責任の明確化と併せ、財政負担の平準化などのメリットがあります。



北アルプスエコパーク

なお、資源物や可燃物の受入れ方法等は、これまでどおりで変更はありません。

契約金額：47億2,340万円。

業務内容：可燃ごみ・資源物の搬入管理業務、プラント設備運転管理・維持管理業務、環境管理業務、安全衛生管理業務、防災管理業務、情報管理業務及びその他関連業務

北アルプスエリア Green Season EVENT CALENDAR

詳しくは、各市町村または各市町村の観光協会・観光局・観光連盟等へお問い合わせください。 《市外局番 0261》

4月	4月15日(土)	陸郷山桜散策 北アルプス展望ウォーク実行委員会(池田町観光協会) ☎62-9197 https://ikeda-kanko.jp/	夢の郷を出発し桜仙峡など桜の名所を巡る散策コースです。詳細は池田町観光協会HPでお知らせしていきます。
5月	5月3日(水・祝)	塩の道祭り 小谷村観光連盟 ☎82-2233	毎年5月に開催される春の一大イベント。石仏や建築物等、歴史に触れられるスポットが多く残る千国越えコースを歩きます。
	5月4日(木・祝)	塩の道と春の白馬里山絶景ウォーキング 白馬村観光局 ☎72-7100 https://www.vill.hakuba.nagano.jp/	[塩の道祭り]を形を変えて開催。地元ガイドが案内しながら約10kmを歩きます。募集人員 400名(事前予約が必要)
	5月5日(金・祝)	塩の道湖畔ウォーク&フォトコンテスト 大町市観光協会 ☎22-0190 https://www.kanko-omachi.gr.jp/	中綱湖から青木湖をぐるっとめぐるウォーキングイベント。併せて豪華景品が当たるフォトコンテストも開催。
	5月13日(土)	第14回いけだまち北アルプス展望ウォーク 北アルプス展望ウォーク実行委員会(池田町観光協会) ☎62-9197 https://ikeda-kanko.jp/	お好みのコースで池田町を満喫するウォーキングです。詳細は池田町観光協会HPでお知らせしていきます。
	5月14日(日)	いわさきちひろが愛した安曇野まつかわ北アルプスパノラマウォーク 松川村観光協会 ☎62-6930 https://www.matsukawamura.com/	絵本画家いわさきちひろがスケッチしたポイントや村の遺跡などを地元ガイドの案内で巡るウォーキングイベント。(有料・要予約)
6月	6月上旬	梅池自然園開園祭 おたり振興公社 ☎82-3053	梅池自然園は、標高1900mに位置する高山植物が見られる国内屈指の高層湿原です。梅池自然園の開園に合わせて催しが行われます。
	6月4日(日)	第66回針ノ木岳慎太郎祭(夏山開き) 針ノ木岳慎太郎祭実行委員会 ☎22-0190 https://www.kanko-omachi.gr.jp/	日本三大雪渓のひとつ針ノ木雪渓にて、故・百瀬慎太郎氏を偲び、夏山開きの安全祈願祭と神事を行います。
	6月18日(日)	木崎湖地引網と水上トレッキング 大町市観光協会 ☎22-0190 https://www.kanko-omachi.gr.jp/	初夏の木崎湖で地引網、湖畔トレッキング、水上をモーターボートで遊覧する盛りだくさんのイベントです。
	7月22日(土)	金太郎伝説として伝わる八坂『大姥山』を地元ガイドと登るトレッキング 大町市観光協会 ☎22-0190 https://www.kanko-omachi.gr.jp/	山姥が金太郎を育てた山として、産湯や熊と遊んだと伝わる洞窟を巡りながら、ガイドと共にバラエティ豊かなルートに登ります。時々、金太郎の看板が疲れを癒してくれます。(鎖場、岩場あり)
7月	7月22日(土)	トットちゃんの夏祭り 安曇野ちひろ公園 ☎85-8822 https://chihiro-park.org/	黒柳徹子・著「窓ぎわのトットちゃん」にちなんだ夏祭りを開催。ステージイベントやマルシェなどを開催予定。
	7月22日(土) 23日(日)	信濃大町若一王子祭り 若一王子神社 ☎22-1626 https://nyakuichi.jp/	700年余りの歴史を持つ若一王子神社の例大祭です。全国でも数少ない子どもの流鏝馬や舞台(山車)の曳き揃え、稚児行列で賑わいます。
	7月29日(土)	池田ふるさと祭り 池田町観光協会 ☎62-9197	4年ぶりに開催します。詳細は池田町観光協会までお問い合わせください。
	7月30日(日)	内鎌もろこし村収穫祭 池田町観光協会 ☎62-9197	毎年恒例の即売会。もろこし他夏野菜の販売も行います。
	8月6日(日)	松川ふるさと祭り 松川ふるさと祭り実行委員会 ☎62-3109	ふるさとを愛し、より良い郷土づくりを目指す松川村最大のお祭り。ステージイベントや模擬店、正調安曇節など多くのイベントを予定。
	8月13日(日)	池田町松川村合同 高瀬川納涼大花火大会 池田町商工会 ☎62-5085 松川村役場経済課 ☎62-3109	池田町、松川村合同開催の花火大会。尺玉やスターメインなど迫力ある花火が打ち上がる。
8月	8月15日(火)	第79回木崎湖灯篋流しと花火大会 水と光と灯りと祭り実行委員会 ☎22-0190 https://www.kanko-omachi.gr.jp/	色とりどりの灯篋と光輝くスターメインが湖上に映り、幻想的な美しさをお楽しみいただけます。
	9月2日(土)	北アルプス三蔵呑み歩き 北アルプス三蔵呑み歩き実行委員会 ☎23-7511 https://www.kanko-omachi.gr.jp/	大町市内にある3つの酒蔵と地ビール工場(ブルワリー)をめぐるイベントです。
9月	9月~10月	梅池自然園紅葉ウィーク 小谷村観光連盟 ☎82-2233	梅池自然園では、例年9月から10月中旬にかけて紅葉が見られます。白馬三山が冠雪する時期には、雪と紅葉、針葉樹の緑による三段紅葉が楽しめます。
10月	10月15日(日)	第40回大町アルプスマラソン 大町アルプスマラソン実行委員会事務局 ☎22-7664 http://www.omachi-sports.com/alps-marathon/	今年で40回目を迎えるマラソン大会。
	10月28日(土)	秋の塩の道湖畔ウォーク&フォトコンテスト 大町市観光協会 ☎22-0190 https://www.kanko-omachi.gr.jp/	中綱湖から青木湖をぐるっとめぐるウォーキングイベント。併せて豪華景品が当たるフォトコンテストも開催。
11月	11月11日(土)	絶景の北アルプスと秋・塩の道ウォーク ~国宝仁科神明宮と文化史跡コース~ 大町市観光協会 ☎22-0190 https://www.kanko-omachi.gr.jp/	地元ガイドが各スポットの見どころを紹介する秋のウォーキングイベントです。

新型コロナウイルス感染症等の影響により、イベントが急遽中止となる場合があります。開催の可否等、事前にイベント主催者へお問い合わせをしてからご参加ください。